

2023年8月30日

丸紅株式会社

株式会社エイチ・アイ・エス

株式会社みずほ銀行

東京海上日動火災保険株式会社

空飛ぶクルマの運航実現に向けた事業性評価・検証の実施について
～みんなで成功させよう！ 空飛ぶクルマの世界 in 関西エリア～

丸紅株式会社（以下、「丸紅」）、株式会社エイチ・アイ・エス（以下、「HIS」）、株式会社みずほ銀行（以下、「みずほ銀行」）ならびに東京海上日動火災保険株式会社（以下、「東京海上日動」）は、大阪府・大阪市・兵庫県が連携し公募した空飛ぶクルマ（※1）の社会実装推進を目的とした補助事業（以下、「本補助事業」）（※2）に採択されました。

本補助事業では、大阪・関西万博開催後の関西エリアにおける空飛ぶクルマ運航事業の推進体制の整備・構築を目的として、関係者と協働し、事業性検証を実施します。

【本補助事業詳細】

<p>検証調査内容</p>	<p>(1) 関西エリアにおける需要分析 (2) 候補ルート毎の運航条件の調査 (3) 候補ルート毎の最適な充電・バッテリー管理方法に関する調査</p>										
<p>検証調査エリア</p>	 <p>出典：政府統計の総合窓口(e-Stat) (https://www.e-stat.go.jp/) を加工して作成</p> <p>対象は、下記①～⑩の内2エリア間を結ぶルートとする</p> <table border="0"> <tr> <td>① 夢洲エリア</td> <td>⑥ 神戸空港エリア</td> </tr> <tr> <td>② 大阪市街地（森ノ宮近辺）</td> <td>⑦ 但馬エリア（竹田城・城崎温泉・但馬空港）</td> </tr> <tr> <td>③ 神戸市街地</td> <td>⑧ 淡路エリア</td> </tr> <tr> <td>④ 尼崎市街地</td> <td>⑨ 高野山エリア</td> </tr> <tr> <td>⑤ 関西国際空港エリア</td> <td>⑩ 瀬戸内エリア（小豆島・直島・福山）</td> </tr> </table>	① 夢洲エリア	⑥ 神戸空港エリア	② 大阪市街地（森ノ宮近辺）	⑦ 但馬エリア（竹田城・城崎温泉・但馬空港）	③ 神戸市街地	⑧ 淡路エリア	④ 尼崎市街地	⑨ 高野山エリア	⑤ 関西国際空港エリア	⑩ 瀬戸内エリア（小豆島・直島・福山）
① 夢洲エリア	⑥ 神戸空港エリア										
② 大阪市街地（森ノ宮近辺）	⑦ 但馬エリア（竹田城・城崎温泉・但馬空港）										
③ 神戸市街地	⑧ 淡路エリア										
④ 尼崎市街地	⑨ 高野山エリア										
⑤ 関西国際空港エリア	⑩ 瀬戸内エリア（小豆島・直島・福山）										

【本補助事業における各社の役割】

丸紅	プロジェクトマネジメント、検証調査、事業計画精査・評価
HIS	空飛ぶクルマのチケット販売に係る料金および販促アイデアなどの精査
みずほ銀行	空飛ぶクルマの減価償却費や機体保有に係る料金の精査
東京海上日動	空飛ぶクルマの日本国内の運航における航空機保険の設計

丸紅、HIS、みずほ銀行、東京海上日動は、本補助事業を通じて事業性のある運航ルートを見極めることで、関西エリアにおける空飛ぶクルマの社会実装の早期実現を目指します。

【各社の空飛ぶクルマ領域における取組概要】

- 丸紅 : 空飛ぶクルマを活用したサービスの認知度および社会受容性の向上に貢献すべく、丸紅グループが提携する英・Vertical Aerospace Group Ltd.ならびに米・LIFT AIRCRAFT INC.と、空飛ぶクルマの運航事業実現に向けた事業性評価を行う他、各種調査を実施しています。2025年の大阪・関西万博では空飛ぶクルマ運航事業者に選定されていることに加え、ヘリコプターを用いた空飛ぶクルマ模擬飛行ツアーや、空飛ぶクルマの実機を用いた有人実証飛行を実施し、空の移動がより身近になる社会の早期実現に向けた取り組みを推進しています。
- HIS : 総合旅行会社として、旅行者のニーズをふまえて本事業における検証のすり合わせと共に、「空飛ぶクルマ」の運航ルートの提案、市場における適正価格の調査と分析を実施します。また、商用利用開始後は、自らの海外ネットワークを通じ、日本国内のみならず訪日外国人に向けて商品造成・販売をします。地方活性化の取り組みの一つとして、自治体と事業者をつなぎ連携し、観光地や都市間の移動を短縮することで新たな旅の可能性を提供したいと考えています。
- みずほ銀行 : みずほ銀行は金融領域の知見を活かし、お客さまの事業戦略における戦略パートナーとして金融を超える新たな価値の創造を目指しています。モビリティ領域では、テクノロジー等に関する産業知見、事業開発・システム開発のコンサルティングノウハウを発揮し、関西エリアにおいても次世代モビリティの社会実装に向けた取り組みを実施しています。空飛ぶクルマの社会実装の早期実現に向け、お客さまとともに挑み、経済・社会へ貢献できるよう取り組みを推進していきます。
- 東京海上日動 : 2019年に国内で初めて空飛ぶクルマを開発中の企業に対して保険提供を開始するなど、航空産業を安心と安全の観点からお支えしています。三重県内での空飛ぶクルマの実用化に向けた包括協定の締結や、大阪府内での空飛ぶクルマの啓発活動・事業性調査の実施、大阪ベイエリアでの航路実現性調査事業への参加など、空飛ぶクルマの実現に向け様々な事業者や自治体と連携した取り組みを進めています。また、経済産業省・国土交通省が共同で主催する「空の移動革命に向けた官民協議会」や大阪府主催の「空の移動革命社会実装大阪ラウンドテーブル」にも参画しています。

- (※1) 電動化、自動化といった航空技術や垂直離着陸などの運航形態によって実現される、利用しやすく持続可能な次世代の空の移動手段。
- (※2) 空飛ぶクルマを活用したビジネス展開を目指す事業者が、大阪府の「空飛ぶクルマ都市型ビジネス創造都市推進事業補助金」、大阪市の「令和5年度空飛ぶクルマ社会実装促進事業補助金」、兵庫県の「空飛ぶクルマ実装促進事業補助金」を受け、実施する事業。

大阪府ウェブサイト「空飛ぶクルマ都市型ビジネス創造都市推進事業補助金」:

<https://www.pref.osaka.lg.jp/energy/evtol/hojyokin-soratobu2.html>

大阪市ウェブサイト「令和5年度空飛ぶクルマ社会実装促進事業補助金」:

<https://www.city.osaka.lg.jp/keizaisenryaku/page/0000599923.html>

兵庫県「空飛ぶクルマ実装促進事業補助金」:

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/sr10/sorakuru.html>

【各社概要】

<丸紅>

社名 : 丸紅株式会社

代表者 : 代表取締役社長 柿木 真澄

本社所在地 : 東京都千代田区大手町一丁目 4 番 2 号

HP : <https://www.marubeni.com/jp/>

事業内容 : 丸紅及び連結子会社は、国内外のネットワークを通じて、ライフスタイル、情報ソリューション、食料、アグリ事業、フォレストプロダクツ、化学品、金属、エネルギー、電力、インフラプロジェクト、航空・船舶、金融・リース・不動産、建機・産機・モビリティ、次世代事業開発、次世代コーポレートディベロップメント、その他の広範な分野において、輸出入（外国間取引を含む）及び国内取引の他、各種サービス業務、内外事業投資や資源開発等の事業活動を多角的に展開しています。

<HIS>

社名 : 株式会社エイチ・アイ・エス

代表者 : 代表取締役社長 矢田 素史

本社所在地 : 東京都港区虎ノ門四丁目 1 番 1 号

HP : <https://www.his.co.jp/>

事業内容 : 日本を含め世界 60 ヶ国 292 拠点を展開する HIS は、旅行事業だけでなく、ホテル事業、地域創生事業など、さまざまな旅行商品・サービスを通じて、世界中のお客様に安心して快適な旅をお届けしています。

<みずほ銀行>

社名 : 株式会社みずほ銀行

代表者 : 取締役頭取 加藤 勝彦

本社所在地 : 東京都千代田区大手町一丁目 5 番 5 号

HP : <https://www.mizuhobank.co.jp/index.html>

事業内容 : みずほ銀行は、国内最大級の顧客基盤、国内外の拠点ネットワークや高度なサービス提供力を有するリーディングバンクとして、お客さまの資金決済や事業資金のご支援などの金融サービスを提供しています。

<東京海上日動>

社名 : 東京海上日動火災保険株式会社

代表者 : 取締役社長 広瀬 伸一

本社所在地 : 東京都千代田区大手町二丁目 6 番 4 号

HP : <https://www.tokiomarine-nichido.co.jp/>

事業内容 : 東京海上日動は損害保険会社としてお客様の信頼をあらゆる事業活動の原点におき、「安心と安全」の提供を通じて、豊かで快適な社会生活と経済の発展に貢献することを経営理念に掲げています。今後もお客様と社会の「いざ」を支えるために挑戦を続けていきます。

【報道関係の方からのお問い合わせ先】

丸紅株式会社 広報部報道課

電話 : 03-3282-3906

株式会社エイチ・アイ・エス 広報室

電話 : 050-1746-4177

株式会社みずほ銀行 広報室

電話 : 03-5252-6574

東京海上日動火災保険株式会社 広報部 広報グループ (担当: 花川)

電話 : 03-6704-4268

以上